

サブジェクト・ライブラリアン（一橋大学の例）

平成19年度から、附属図書館に専門助手の配置を行い、サブジェクトライブラリアンとして、展示企画や後援会プロジェクト（大学史関係の非図書資料の整理、発信事業）を実施している。また、平成20年3月よりレファレンスカウンターでのレファレンス業務を開始した。

（第28回学術情報基盤作業部会発表資料より）

◎一橋大学附属図書館専門助手（サブジェクト・ライブラリアン）の公募（H19）

○職務内容・募集人員

高度の専門的知識を活用し、特殊文庫・コレクションの整理・修復保存・電子化・展示などに従事するほか、利用者に対し文献・情報探索、論文作法等の指導を行う者

（いずれも研究職ではありません。）

A 西洋社会思想史、西洋経済史などの分野 1名

B 日本近世・近代史、日本経済史、日本思想史などの分野 1名

○応募資格 次のいずれにも該当する者

1 大学院博士後期課程を修了した者（見込みを含む。）又はこれと同等以上の高度の専門的知識、技術若しくは経験を有する者

2 Aにあっては、英語のほか、ドイツ語又はフランス語のいずれかに精通している者、また、Bにあっては、歴史的文書の解読能力があるほか、英語の読解力が相当程度ある者

○任期 5年（再任可）

（一橋大学附属図書館広報誌より）

（第34回学術情報基盤作業部会発表資料より）